



く どう ゆうせい  
工藤 祐誠さん  
(14歳・ひばりヶ丘)

- 今夢中になっていること 剣道(部活)
- 今後の目標 全校生徒に信頼される生徒会役員になること
- 誰にも負けないこと けん玉、子守り、甘党
- 今一番行きたいところ ハワイに行きたい!

# 菊陽人 りさーち



掲載を希望する人は、はがきか電子メールに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記し、〒869-1192 菊陽町役場総合政策課 sogoseisaku@town.kikuyo.lg.jp までお送りください。  
注)掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している人に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらからご連絡します。



さいとう よしき  
斉藤 芳紀さん  
(15歳・駅前)

- 今後の目標 今自分ができるとはしっかりしておく
- 誰にも負けないこと 水泳
- 今一番やりたいこと 水泳、部活、USJにGO!
- みんなに伝えたいこと 最近眼鏡を変えました

縁の下の力持ち

## ゆ た かな 心 を は ぐ く む

# 人権のひろば

子どもの目、子どもの声  
人権  
作文シリーズ  
【No.73】

問い合わせ  
人権教育・啓発課  
☎(232)2113

※作者の学年は前年度の在籍学年となります。  
◇印からの文章は、先生のコメントです。



▲学習発表会「つたえよう」

ほんとうの友だち

武蔵ヶ丘小学校 3年

平野 陽花

私たちは「ほんとうの友だち」の勉強をしました。住んでいる所で差別することのひどさや、周りの人たちの態度などいろいろなことを学びました。  
私は、この学習をしているときに転校してきたときのことを思い出しました。それは2年生の時、中国のインターナショナルスクールから来たということで、まだ顔も名前も覚えていない男の子たち3人から「中国ってくさいんだよね」とか「中国人みたい」とか言われました。最初は1人が言って、あとから2人が「そっだよね」「そっだよね」と一緒に言っていました。  
お父さんの仕事で中国についていっただけなのに、私はなぜここまで言われな

きやいけないのかわかりませんでした。ただ何だかとても不愉快な気持ちになりました。でも、お母さんにはそのことが言えなくて、「学校どうだった?」と聞かれると「楽しかったよ」と小さなうそを言っていました。いやな言葉や態度をとられると今でもその時のことを思い出します。  
インターナショナルスクールでは日本人は私1人で、中国の子どもが半分、あとはアメリカと韓国の子たちでした。ここでは私が日本人だということ差別されたり、ばかにされたりすることもありません。みんな仲のいい友達でした。私は、スクールのみんなからエミリーとよばれ、朝来たらみんなとハグ(※)していました。もちろん中国の友達ともいっぱいハグしました。私の知っている中国の友達は誰もくさくないし、やさしくて気のいい友達ばかりでした。そんなことも知らないで、テレビなどの一部の中国の報道だけで中国のことをバカにしている人たちはなんだか気の毒な気がしました。  
私がいじめられているときに今でも忘れられないことがあります。それははじめを受けて困っていた私を見て、友達のさくらさんが男の子たちに注意してくれました。れいみさんはやめさせてくれました。そしてころろさんは男の子たちにあやまらせてくれました。この3人は私にとってヒーローだし、今でも大切な

友達です。

「ほんとうの友だち」の学習で、差別やいじめを見ているだけの人は、やられている人から見れば、やっている人と同じだということも学びました。私の友達は見ているだけでなく、行動してくれたから、私は今安心して学校に来ることができています。私も困っている人の力になれるよう心がけたいと思っています。

※ハグは抱きしめること。

◇差別をなくす第一歩は正しく知ることです。テレビやマスコミの一部の情報だけで判断してしまうことはとても危険です。差別意識で人と人が切られていくのは双方にとって本当に不幸なことです。

### 無料人権相談所を開設します

人権問題でお困りの人は気軽に相談ください。相談は人権擁護委員が応じます。相談は無料で秘密は固く守られます。

#### ■期日・場所

① 6月1日(月)

武蔵ヶ丘コミュニティセンター

② 9月1日(火) 菊陽町中央公民館

③ 12月1日(火) 西部町民センター

■時間 午前10時～午後3時

■問い合わせ 人権教育・啓発課

☎(232)2113

## きくよう文芸

### 菊陽句会報

頂 <small>いた</small> きし春 <small>はる</small> 筍 <small>たけのこ</small> 詰 <small>つ</small> めて旅 <small>たび</small> の荷 <small>に</small>	財津 早雪	髪 <small>かみ</small> 染 <small>ぞめ</small> めてしはし外 <small>と</small> 出 <small>で</small> や梅 <small>うめ</small> 日和	日高 妙子
ほろ苦 <small>あまみ</small> さ甘味 <small>あまみ</small> 噌 <small>あ</small> 和 <small>わ</small> へのふきのとう	原野レイ子	ほほ笑 <small>わら</small> みて今日は地に咲 <small>はな</small> く落 <small>おち</small> 椿 <small>つばき</small>	曾我 育代
忘れ雪 <small>あまみ</small> 積 <small>あ</small> もるともなく止 <small>と</small> みにけり	カ 幸子	あちこちの挿 <small>さ</small> 木 <small>き</small> 知 <small>し</small> 雨 <small>あめ</small> 露 <small>つゆ</small> の水 <small>みづ</small> 廻 <small>まわ</small> る	曾我トモ子
梅 <small>うめ</small> の香 <small>か</small> の雨 <small>あめ</small> に溶 <small>と</small> けゆく夕 <small>ゆ</small> 間 <small>ま</small> 暮 <small>ぐ</small> れ	寺尾千代子	噴 <small>ふ</small> 煙 <small>えん</small> の鎖 <small>くわ</small> もり見 <small>み</small> へず弥 <small>や</small> 生 <small>せい</small> なる	紫藤 祥子
春 <small>はる</small> の宵 <small>よ</small> 親 <small>おや</small> となりたる子の背 <small>せ</small> 中	堀川 妙子	空 <small>そら</small> 耳 <small>みみ</small> に大 <small>おほ</small> きく返 <small>かえ</small> 事 <small>こと</small> 山 <small>やま</small> 笑 <small>わら</small> ふ	村上 朋子
雑 <small>ざ</small> 草 <small>くさ</small> をふみつけ春 <small>はる</small> をお <small>お</small> い <small>い</small> か <small>か</small> ける	福田 貴子	吾 <small>わが</small> が胸 <small>むね</small> に嬰 <small>あや</small> の眠 <small>ね</small> りや春 <small>はる</small> の風	藤本 純子
東 <small>あ</small> 風 <small>かぜ</small> 抜 <small>ぬ</small> ける三年教室 <small>さんねんきょうしつ</small> さびしさう	佐藤 健	振 <small>ふ</small> りかざす撥 <small>は</small> の音 <small>ね</small> にも余 <small>あま</small> 寒 <small>ふせ</small> あり	木村 信子
一 <small>い</small> 病 <small>びやう</small> に負 <small>ま</small> けてはならじ梅 <small>うめ</small> 開 <small>ひら</small> く	吉野 早苗	我 <small>わが</small> が道 <small>みち</small> も患 <small>あや</small> 方を信 <small>ま</small> じ歩 <small>あ</small> みゆ <small>ゆ</small> く	米山ルミ子
街 <small>まち</small> 路 <small>じ</small> 樹 <small>じゆ</small> を激 <small>あ</small> しく揺 <small>ゆ</small> らし二月 <small>にがつ</small> 尽 <small>つ</small>	井上久美子	梅 <small>うめ</small> 東 <small>あづ</small> 風 <small>かぜ</small> や自 <small>じ</small> 転 <small>てん</small> 車 <small>くるま</small> の子 <small>こ</small> に夕 <small>ゆ</small> 日 <small>ひ</small> 落 <small>お</small> つ	佐藤 澄世
啓 <small>あ</small> 蠶 <small>ら</small> の風 <small>かぜ</small> を友 <small>とも</small> とし散 <small>ち</small> 歩 <small>ほ</small> 坂	宮川ユキエ		

### 短歌会

庭にわ土つちに寒ふせと残のこれる春はるの日に野の蒜びろ一株いっしゆ青あお々と伸のぶ  
春はるからの招待しょうたい状じやうが届といてる天地てんちぬりかえる生命せいめい力りき  
カーテンのビニール徐じゆ々に取りはずす寒ふせさもう来きぬ三月さんがつ半はんば  
命いのちあるごとくに刻くむ秒針びやうしんのこの一瞬いっしゆんも吾わがが生せいのうち  
夕ゆ暮ぐれて幼このぶらんこ揺ゆらしいる翁おきないつしか小さく見ゆる  
庭にわ隈かにクリスマススローズの咲さきあふれその根元ねもとには新芽あたら伸のびたり  
この日頃ひごと明日あしたは採とらむと思おもううち鶴つるの来きて枝えだを揺ゆらせり  
葦あし原はらにひな鳴なく声こゑの繁さかくして耀あき満みつる水みづの光あかりは  
風かぜに揺ゆれ小鳥こどりのごとく軽かろやかに舞まひ上ありまた舞まひ降くだりる

- 今村 貞子
- 上野 陽子
- 梅田 國雄
- 河北 幸一
- 佐藤せい子
- 中村トシエ
- 松岡富紀子
- 山川 カヅ
- 松本 東亜